

公共施設適正配置に関する市民ワークショップ意見等まとめ（概要）

市民ワークショップにおける意見等（地域別WS、施設目的別WS）

●市民会館（郡上市総合文化センター他）

☆市より、現在5カ所ある市民会館（固定席を備えたホール）を、施設の規模や利用内容等に応じて役割分担し、将来的には2カ所程度に集約するという提案を行ったところ、地域別WS及び施設目的別WSのいずれにおいても、集約化について概ね同意の意見が得られた。特に、文化協会を中心とした施設目的別WSでは、市に大きなホールは一つで良いとの意見も出ている。

また、現段階として市は「白鳥文化ホール」を廃止する提案を行ったが、白鳥地域や文化協会としても、「廃止やむなし」又は「廃止したほうが良い」との意見が多く寄せられた。

★現在のホールは、ほぼ「貸館」の状態であり、指定管理者制度など民間活力の導入により自主事業等を行い、市民に質の高い文化を提供する機能を充実させるべきとの意見や、集約を行う際は公共交通を含め交通の便に留意すべきとの意見があった。

●生涯学習センター（大和生涯学習センター他）

☆市より、各地域に拠点となる生涯学習センターを1カ所配置し、振興事務所との連携や分担を行いながら、地域における「まちづくりのコーディネーター」としての役割を果たしていくという提案を行ったところ、市の考える方向性について異論はなく同意が得られた。特に、市としては現在の「大和生涯学習センター」を廃止し機能の移転を図る（移転先候補は、「やまつつじ」や「やまびこ園」などがあるが未定）という提案を行ったが、耐震性がないことや老朽化状況も含め、廃止の方向性はやむなしとの共通理解であった。

★市民会館同様、施設で行う事業内容（講座や教室等）の充実が必要であること、また、地域づくりの体制も含め、地域の拠点として活用される方策を検討していく必要があるとの意見が多く見られた。

●体育館（白鳥体育館他）

☆市より、全国・県・市レベルの大会が実施できる体育館を「基幹体育館」として市内に複数カ所、地域の生涯スポーツの拠点となる「拠点体育館」を各地域に1カ所設置し、現在のミニ体育館は大規模修繕が必要となった時点で順次廃止し、その機能は学校開放施設で補うという提案を行ったところ、この方向性には概ね同意を得られた。但し、白鳥体育館及び白鳥第2体育館は、耐震性がなく老朽化も進んでいるため、白鳥地域においてはこれらへの関心が高く、もう少し踏み込んだ議論が必要となる。一方で、体育協会のWSでは市として基幹となる体育館は1カ所で良いのではないかとの意見もあり、体育関係者は大規模化と集約化による総合的な体育施設を望んでいることが伺えた。

★ミニ体育館の廃止に関しては、避難所としての機能をどのように補っていくかについて懸念する意見が見られた。

○地域独自施設については様々な意見はあったが、具体的なとりまとめには至っていない。但し、高鷲福祉交流センターに関しては、廃止及び機能移転という市の方針に関して難色を示す意見が多数あった。

※地域の独自検討施設

八幡：郡上八幡サイクリングターミナル 大和：大和生きがいセンター 白鳥：白鳥保健センター

高鷲：高鷲福祉交流センター 美並：市役所美並庁舎 明宝：明宝歴史民俗資料館

和良：和良町民センターが廃止となった場合の機能の移転先の議論

○小中学校については、別途教育委員会が設置した検討委員会で議論しているため具体的な検討は避け、学校の空き教室の利用方法や、廃校になった場合の後活用について様々な意見をいただいた。